

## 入所困難な特養の待機者は諏訪広域で952人

自宅での介護が困難になり行き詰まったとき入所できる介護保険の「特養（特別養護老人ホーム）」は、終身入所でき、低所得者には負担軽減があり所得内で利用できます。諏訪広域に12の施設で定員合計は825人（21.6 現在）です。

しかし入所待ちの待機者が952人（21.3 現在）もいて入所困難な介護施設です。在宅の待機者ばかりでなく、待ちきれずに原則6か月期間限定の老健（介護老人保険施設）や、医療関係に入っている待機者が沢山います。空室がありすぐ入居できる介護付き終身対応の有料老人ホームや高齢者賃貸集合住宅は、利用者が急増していますが、利用者負担が月額およそ20万円前後かかります。

特養の入所者は市町村にある入退所の検討会で決めますが、申込み順ではなく介護度の重さや在宅の家族介護の困難さなどが基準ですから、重度の要介護5、4や一人暮らしの方の順位が早くなります。全的介助が必要になる要介護度3～5の待機者が増加し続ける一方、低い要介護1、2の方は横ばいです。

